

天沼小だより

校長 大里 忠弘



人権標語学級代表が選出されました

12月に人権について考える人権学習週間がありました。校長から次のように語りかけました。人をナイフで切りつけてしまえば、それは犯罪です。人を棒で殴ってしまうのも、犯罪です。相手が血を流さなくても、怪我をしなくても、心が痛く、傷ついてしまう心の傷を負わせるようなことをしてしまえば、これも犯罪と同じ事になるはずです。皆さんは、間違っ



て、お友達を悲しませてしまうようなことはありませんか。心を傷つけてしまうようなことを言ったり、したりしていませんか。相手のことを思い、大切に

にする気持ちが鈍くなると、将来、犯罪へとつながってしまうかも知れません。困っている人を助けたり、一人でいる人に声をかけたりできる優しさを忘れないようにしましょう。冬休み、一人一人が「人権標語」を考えました。各学級からの代表作品として優秀な作品が選ばれました。プレールームに表示されています。あわせて、給食の時間の放送で、作者本人によるアナウンスで全校児童に紹介されました。

人と人
たいせつなのは
たすけあい
一年 K M

みんなにやさしく
じぶんのことは
えがおがふえる
一年 F K

一人じゃない
みんながいるから
だいじょうぶ
二年 W R

言わないよ
自分が言われて
いやなことば
二年 H K

うれしい言葉
やさしい言葉
みんなで作ろう
三年 I H
え顔のわ

一人じゃない
となりにいるのは
やさしいなかも
三年 T I

思いやり
みんながつながく
笑顔の輪
四年 N Y

どこまでも
やさしさの線路
続いている
四年 K S

半分こ
分けてあげるよ
私の笑顔
五年 K M

あなたとわたし
たがいの気持ち
みとめあおう
五年 N M

なにげない
その一言で
救われる
六年 H Y

違いがあってもいい
認め合えば
きっと楽しくなる
六年 H Y